

目の不自由な方へのサポート

エレベーターのフロア音声ニーズに応じて、独自開発した装置

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律

「バリアフリー新法」が、平成12年(2000年)に施行されている。

視覚障害者のエレベーター利用に対する対応策は、階数ボタンの浮き出し文字や点字併記、到着階の音声案内などの工夫がされている。視覚障害者が点字などで階数ボタンを押しても、他者が途中の階のボタンを押すと降りる階が判らなくなるため到着階の音声案内は必須である。旧式のエレベーターで音声案内の機能がない建物施設が、新設するには多額の費用と時間がかかる。

当社が開発した各階のエレベータードアの外側に設置する「フロア音声案内装置」は画期的な機器で、電源を確保しにくい環境でも電池駆動タイプなので、すぐに稼働させることができる。100V 電源が確保できる環境であれば電源タイプも用意している。基本音声の「00階です、ドアが開きます」以外に、フロアごとに音声内容を変えて提供ができます。

※「ドアが閉まる」、「昇降方向の案内」音声機能には対応していません。



乾電池タイプ

楽々設置の
音声ガイド

階音君

KaiOn-kun
【新登場】

オープン価格

【機器の構成】

- ・本体
- ・単4電池 x 3
- ・磁気センサー
- ・薄板磁石



AC電源タイプ

階音くんの設置例



公共施設

大学

病院

マンション

磁気センサーを壁側に固定

エレベーターのドアが開いて、磁石がセンサーから離れると音声が出る

お問い合わせは、株式会社シフト <info@shift.co.jp>

 **SHIFT Inc.**